

会 議 要 旨 書

会議名	第4期三鷹市生涯学習審議会第2回定例会 第33期三鷹市社会教育委員会第2回定例会
日 時	令和5年10月25日(水) 18時30分～20時
場 所	三鷹市生涯学習センターホール
出席委員 (16人)	田中雅文 矢崎喜美子 齋藤智志 廣瀬圭子 青木玲子 生田美秋 鎮目司 小林七子 澤田達也 永田和昭 和田光広 進邦徹夫 藤橋初美 富澤昌人 加藤綾子 千田妙子
欠席委員 (4人)	間部豊 東山昌央 並木茂男 井上翔太
行政職員 (5人)	スポーツと文化部長 大朝摂子 教育部調整担当部長 松永透 生涯学習課主査 下原裕司 同主査 中西崇郎 同主事 齊藤満里奈
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人
<p>開会</p> <p>1 委嘱式</p> <p>スポーツと文化部長から委嘱状の交付を行った。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局より委員の出席状況、傍聴者の有無、会議要旨の公開についての報告と配付資料の確認を行った。)</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 高齢者自主グループ講師派遣事業の講師変更について</p> <p>【事務局】 高齢者自主グループ講師派遣事業については、令和5年4月21日に開催した前期の生涯学習審議会・社会教育委員会第2回定例会の中で、委員の皆様にご意見をお伺いし、講師派遣団体の決定をした。このたび1団体から、派遣決定された内容について変更したいという申出があったので、三鷹市高齢者自主グループ講師派遣事業実施要領第7条第2項の規定に基づき、委員の皆様にご意見をお伺いさせていただく。</p> <p>資料2をご覧ください。団体名は、みんなのみたかで、変更理由については、現在の日本の子どもたちの環境を考えるうえで、江戸時代の子どもたちの環境を今日的な視点で見直したいとの要望があり、当初予定していた講師の専門ではなかったため、講師を変更したいとのことである。講座名、講座内容については、変更はない。講師については、本田由佳氏を予定していたが、東京学芸大学名誉教授の大石学氏に変更となる。</p> <p>【副会長】 どなたかご意見はあるか。</p>	

～意見なし～

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会について

【事務局】まず、東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下「都市社連協」という。）についてご説明する。現在、都内にある26市と3町がこの都市社連協に加盟している。都市社連協では、毎年、定期総会及び交流大会を各1回開催している。また、都市社連協を構成している29市町を、エリアごとに5つのブロックに分けており、三鷹市は第5ブロックに所属している。各ブロックで年1回研修会を実施しており、今年度は三鷹市が幹事市となっている。研修会の詳細については、資料4のタイムテーブルをご覧ください。

日時は令和5年11月11日（土）14時から16時30分まで、会場は三鷹産業プラザである。当日の司会進行は、A委員にお願いする。13時30分から受付を開始し、14時の開会までの間、三鷹市のPRのために「三鷹市市制施行70周年記念動画」を流す。研修会では、会長による基調報告及び教育部調整担当部長による事例発表、グループワークを行う。グループワークの司会進行は、副会長にお願いする。グループワークでは、「学校3部制～夜間・休日の学校施設を活用した、地域に開かれた学校づくりの実現について～」をテーマに、4つのグループに分かれて議論していただく。会長、副会長、A委員以外の委員の皆様には、各グループに入って、ファシリテーターや書記の役割を担っていただく。グループワークの後に、各グループによる発表を予定している。また、三鷹をPRするために「うーおの森」に三鷹産の農作物を使ったお菓子を用意してもらおう。また、グループワークでは資料5及び資料6を参考資料として配付する。

【教育部調整担当部長】三鷹市ではコミュニティ・スクール及びスクール・コミュニティを推進しており、スクール・コミュニティとしての新しいコミュニティの構築を目指している。コミュニティ・スクールが「制度」であるのに対して、スクール・コミュニティは「ムーブメント」であると考えている。保護者だけでなく、それ以外の地域の方に学校に集っていただき、学校を縁としたつながりを作っていただきたい。第5ブロック研修会では、このような話に加えて、学校3部制のイメージ、社会教育で学んだことを、どのような形で学校や子どもたちに還元できるかといった話をできればと思う。

【B委員】学校の理解や管理面の心配、担い手の問題など、課題となっていることをどのように克服してきたのかを説明していただけるとよいのではないかと。また、それによってどのような効果が生まれたのかが、学校3部制の実現の動機となるのではないかと。

資料5のアンケートについて、研修会当日はカラーで配付していただきたい。また、アンケートの狙いなども説明する必要があるのではないかと。あくまでアンケートなので、実態がわかるわけではない。

研修会に参加する社会教育委員が理解するだけでなく、その方が自分の地域に持ち帰って説明できるような資料にできるとよい。

【スポーツと文化部長】資料5のアンケートがどのような趣旨で行われたかなどの情報を付け加えて、研修会では配付する。

【副会長】グループワークにおいて、我々は説明する側になるので、ある程度質問に答えられ

るように、学校3部制について理解をしておくことが必要である。

【教育部調整担当部長】現在はまだ課題の克服に向けて検討をしているところなので、どこまでお伝えできるかわからないところがある。三鷹市でずっとコミュニティ・スクールをやってきたことは強みである。資料6についても、どういったことが課題なのかを探るために実施するものである。今後は第3部と第1部及び第2部とをリンクさせるために、動き出していこうというところである。

【副会長】学校3部制の第2部については、他市でも様々な活動が行われている。三鷹市はもう一步先の第3部に取り組みようということで、他市にとっても有意義な研修会となるはずである。資料6の事業を実施することで、どのようなことを克服することができたのか、あるいは克服できる見通しなのかなどの説明があると、グループワークの参考になると思う。

【A委員】グループワークにおいて、はじめに事実確認や質問をしないと有効な議論ができないと思う。各グループのファシリテーター役の委員の方も、詳細まで知っているわけではないので、質問があった場合に、事務局に対応していただくということによろしいか。

【教育部調整担当部長】そのような対応でかまわない。

【A委員】グループワークの進め方については、各ファシリテーターに任せるということなのか、それともある程度の方向性を共有しておくのか。

【事務局】事務局でグループワークのおおまかなタイムスケジュールを作成し、共有させていただく。また、事務局職員も各グループに分かれて配置するので、進め方などわからない場合はお尋ねいただきたい。

【スポーツと文化部長】グループワークの流れのひな型を共有させていただくが、その通り進めないといけないというわけではないので、楽しみながらグループワークをしていただければと思う。

【会長】限られた時間内でのグループワークなので、1人あたりの発言は3分以内でお願いするなど決めておいたほうが、ファシリテーターの方もやりやすいと思う。

【B委員】まずは基調報告の内容について委員の皆さんで話し合い、共通認識を持ち、そのうえで具体例に入っていくというのがよいのではないかと。そうしないと、質問だけでグループワークの時間が終わってしまう可能性もあると思う。

【会長】基調報告では、文部科学省の政策の動向を皆さんで共有するために、主に制度の枠組みについて話す予定である。

質問だけでグループワークが終わってしまうことがないように、第3部にこだわらずに、社会教育の場で学んだことを第2部や第1部など地域で活かしていくには、どのようにしたらよいかという内容で議論していただければよいのではないかと。

【スポーツと文化部長】例えば、各市の委員の皆様の地域での取り組みで、三鷹でいう第3部に該当するようなことは何かあるか、そしてそれが第2部や第1部にコミットしているような事例があるかを、まずは付箋に書き出してみるのはいかがでしょうか。次の段階として、よりよくしていくには、どのようにしていったらよいかについて考えていただく。グループワークが、三鷹市の取り組みへの質問にならないような段取りにしたい。

【会長】まずは、自分の地域での状況を書き出してもらって、それをどのようによくしていく

のかという、ご自身の地域のことについて考えてもらうことで、複数の自治体間で情報共有することができる。

【C委員】意見を出していただくのであれば、「あなたのまちの取り組みについて」「あなたのまちの大人の活用事例」など、グループワーク用のワークシートを作っておいたほうがよい。

【会長】ワークシートはとても良いアイデアだと思うが、書き出した内容をグループ内で共有するのが難しい。例えば、書き出す内容によって付箋の色を変えるというのはいかがか。

【C委員】書き出していただく内容をレジюмеに記載しておいて、実際に意見を書くのは色分けされた付箋にするとよいのではないか。模造紙に学校の絵を書いておいて、水色の付箋を貼ると窓のようになるとか、ボールのような丸い付箋を用意するというのも面白いと思う。

議論の論点がずれないように、口頭で説明するだけではなく、書き出してもらう内容をレジюмеにして配付することが大切である。

【会長】各市の「実態」について模造紙の片側に貼っていき、「解決策」を反対側に貼っていくというやり方もわかりやすいと思う。

【C委員】模造紙は1グループに1つなのか。それとも全体で1つの模造紙なのか。

【事務局】1グループに1つの模造紙である。

【C委員】他市の委員の方にもわかるように、教育部調整担当部長の資料で、課題の例やその克服のためのベストプラクティス事例を、写真をたくさん使って紹介していただきたい。

以前の定例会で「学校3部制」について説明していただいたときの資料がわかりやすかったので、新しい委員の方にも共有していただきたい。

【会長】コミュニティ・スクールや学校と地域の連携についてのパンフレットはあるか。

【教育部調整担当部長】いくつかあるので、当日配付できるようにする。

【会長】当日の役割について決めさせていただきたい。

(D委員、E委員に受付をお願いする。)

【事務局】グループワークでは、各グループに2人ずつ入っていただき、ファシリテーター役と書記役を担っていただきたい。各グループへの割り振りについては、事務局で検討する。

4 報告

(1) 11月21日(火)、22日(水)に「第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会」が開催される。

(2) 12月9日(土)午後1時15分から、調布市にて都市社連協交流大会が開催される。副会長が、第5ブロック研修会の発表を行うので、ぜひ多くの委員の皆様にご出席いただきたい。後日、メールで出欠の確認をさせていただくので、ご協力をお願いしたい。

5 その他

今回は、令和6年2月13日(火)午後6時30分から、生涯学習センターで開催予定である。

—閉会—